



かれんと

No.35

2009.9.25

Current:カレント

時代の流れあるいは
新しい潮流

あなたのマナー大丈夫？

最近、気になることはありませんか？

日々の暮らしの中に、目には見えない

思いやりの心が存在する

それは親から子どもへ、子どもから孫へ

受け継がれていく心の文化

気持ちの良い生活を送るために、

「常識のものさし」をもう一度考えてみましょう。



主な内容

- ・あなたのマナー大丈夫？
- ・こんなあなた見られていますよ!
- ・インタビュー
工藤敬子さんが語る
マナーづくり
根っこは家庭から
- ・男女共同参画事業報告
- ・お気に入りbook
- ・ひとくちメモ
- ・編集後記

※「かれんと」は、ボランティア編集員が担当し、作成しています。

こんなあなた 見られていますよ!

意外と自分のことは気付いていないものです。
もう一度自分を振り返ってみませんか?

公共マナー(バス・電車)

- ・ 優先席でのためき寝入り
- ・ 車内での化粧
- ・ 車内の床座り



◀ 座席フロアの上で

環境マナー

- ・ ごみの未分別
- ・ 山や川への不法投棄
〔大型家具・電気製品〕
- ・ 敷地内でのごみ焼却



◀ 携帯電話のマナー違反

交通マナー

- ・ 信号無視や黄色信号での交差点進入
- ・ スピードの出し過ぎ
- ・ 自転車の並進走行
- ・ たばこの投げ捨て



携帯電話マナー

- ・ 使用禁止場所での通話
- ・ 運転中の通話
- ・ 大声での会話



言葉のマナー

- ・ 言葉の乱れ・汚い言葉
〔じゃねーよ・うざい〕
〔てめえ・など〕
- ・ 敬語の間違った使い方

▶ たばこのポイ捨て



◀ ごみのポイ捨て

礼儀のマナー

- ・ ガムをかみながらのおしゃべり
- ・ あいさつ無視

インタビュー 工藤 敬子さんが語る マナーづくり

根っこは家庭から

今回は、県内各地でコミュニケーション講座講師として活躍中のフリーアナウンサー工藤敬子さんに、ルールとマナーについてお話を伺いました。

私自身、子どもがおりますので、やはり子どもの行動は気になります。携帯電話の使い方や自転車の乗り方など、考えさせられることも多いですね。

子育て中の親が世代がわりをし、常識のものさしとなるものに差が出てきてしまっているのでは？と感じますね。社会全体で、ものさし



というものを、いま一度、確認していく作業が大切なのではないでしょうか。自分が今のものさしをどうやって作ってきたのかを振り返ると、親から教えてもらったことを受けてきたことを受け継ぎ、それに自分が体験したことをプラスして、アレンジを加えながら

作ってきたような気がします。やっぱりそういったルールとマナーの基本は、家庭で作っていくものではないかと思っています。

今の親御さんって、すごく子どもの顔色をうかがうんですよね。どちらかというと主従関係が逆転しているケースが多いように思います。しつけにも、ここだけは絶対に譲らないという強い姿勢が必要です。あとは親が子どもとの小さな約束を守ることも大切です。それは大人が模範になるということ。それが信頼関係を築いていくことにもつながります。

子どもが最初に出会う社会は家庭です。ルールがあつてマナーがあつて、それが根底になつてはじめて相手を思いやることができるのです。根っこは一緒ですね。

夫婦間でもそうですが、コミュニケーションの基本は言葉になつてきますよね。自分が言われたくないことは言つてはいけないと思います。お互いがどれだけ尊重し、認め合つていくかが大切だと思います。

最近、言葉の乱れもすごく気になります。目上の人を敬う気持ちは、時代がかわつても譲りたくないですよ。子どもたちに接するとき、大人もきちんとした敬語で接したいものです。敬語は日本の良い文化だと思つて、挨拶も敬語の使い方も大切にしてほしいですね。



私は大芦川が好きでよく釣りにいきますが、県内で一番きれいな溪流だと思つてます。たくさん自然にふれあえば、将来、そういったものを守っていきたいと思つてほしいし、自分が住む地球をきれいにしたいという気持ちで、環境マナーにつなげていくのではないのでしょうか？

想像力が豊かで、相手の気持ちや将来のことを考えられる人が増えれば、それだけで気持ちのいい社会が作れると思います。

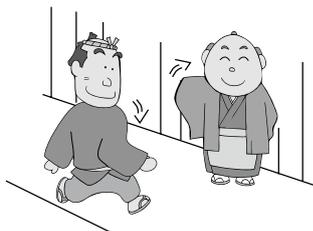


江戸くぐり

人口100万人を超える大都市であった文化・文政のころの江戸。その城下町では、約80%の人々がなにかしら商売を営んでいました。この時代の商人のリーダーたちが、「どうしたら争いのない平和な暮らしができるのか」を考え、生み出された心構えが「江戸くぐり」です。

江戸くぐりに学ぶ子どもの「作法」
PHP研究所より抜粋

肩引き



右の肩をうしろに引く
それだけでぶつからない

こぶし腰浮かせ



一人でも多くの人が座れる
こぶし一個分の心配り



第3回講師
佐藤市長



第2回講師
加藤千枝氏



第1回講師
関谷忠一氏

前期・男女共同参画

セミナーを開催

今年度も男女共同参画セミナーを市民情報センターで開催しました。

第1回目は、とちぎテレビでもおなじみの関谷忠一氏を講師にお迎えしました。「自然と共に、ワークライフバランス」と題して野趣に富んだお話をいただき、楽しい笑い声が会場に響きました。

第2回目は、今の時代を反映した携帯電話の怖さについて、青少年メディア研究協会企画調査職員の加藤千枝氏に講演をいただきました。親が知らない間に、怖いサイトにつながっているかも知れないという事実に驚きました。

第3回目は、佐藤市長に「市政における男女共同参画について」と題しての講話。硬くながちな内容も、市長の分かりやすい話とユーモアで、あつという間に1時間が終わってしまいました。

各セミナーの参加者は、男女共同参画社会づくりの基本的な事柄について、理解を深めることができました。



男女共同参画フォーラム&第5回市民ひゅーまんセミナーを今年から合同で開催

8月29日(土)、市民情報センターにおいて第1部は、朗読グループ虹色による朗読劇「ひまわり〜DVを乗り越えて〜」を、第2部は、認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎ理事長中村明美氏による「DVを考える〜安心なパートナーシップをささぐために〜」と題しての講演会を行いました。

昨年まで、フォーラムとセミナーは別々に開催していましたが、今年から合同開催になりました。このことで受講者の偏りがなくなり、より多くの人が受講しました。

鹿沼市では、近年女性に対するDVの相談件数が増加しています。このことに対応するため、今年度から、人権推進課に婦人相談員を1人配置しました。

この講演会を機に、DVは犯罪であるという認識を1人ですら、1人で悩まずに、まず相談をしてください。

ひとくちメモ

モラルハラスメント

言葉や態度などによって人の心を傷つける行為のこと。いわゆるいじめ行為を指す。

職場関係では、その行為が上司、部下などの職場上の力関係を背景として行われる場合、パワーハラスメントとされるが、そのような力関係を背景としない場合、モラルハラスメントになる。

モラルハラスメントは、職場に限らず、あらゆる人間関係において発生しうるものである。

「eXBUZZwords用語解説」より

お気に入り Book



「美人の日本語」

著者 山下景子
出版 幻冬舎



工藤敬子さんのお気に入りの1冊。
夢を与えてくれる言葉、和ませてくれる言葉、季節を感じさせてくれる言葉。口にするだけで心が綺麗になる365日の言葉が詰まった1冊です。
日本語の美しさを再確認できます。

編集後記



・ 優しい心の輪を広げよう！
・ 何が出来るだろう (黒ちゃん)
・ たかが言葉、されど言葉。言葉は凶器にもなります。気を付けて話しましょう (とんとん)
・ 今回の取材で、日本語の美しさ・伝えていくことの大切さを再確認しました。(めだか)
・ いろいろな人の思いやりに守られていたんだなあ、と思う今日この頃。少しずつ返していけるといいですね。(いるか)
・ 仕事で全国各地の道路を運転しますが、栃木県人の運転マナーは決してほめられませんが、気を付けましょう。(くに)